

# 第32回鈴鹿市文芸賞の受賞作品が決まりました

## ◆一般部門

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	小説・評論等	澤田 悟	木蓮の木の下で
	エッセイ	藤田 和清	一筋の煙
	アフォリズム	中山 美保	見えない貧困、見えない虐待、見えない介護、見えないいじめ、見えない生活が多すぎる。
	詩	ミスタニJ	もっと近い夜に
	短歌	山本 城	初明かり
	俳句	北岡 礼子	秋澄めり
	川柳	冨山 繁	花と生きる
優秀賞	小説・評論等	わたなべ ひさし	証言者
	エッセイ	澤田 悟	母の外套
	アフォリズム	伊藤 久昭	鏡に映った自分を眺めて、満足そうににっこりしているあなた。鏡はあなたを逆に映しているのですよ。
	詩	澤田 悟	森の小径をぬけて
	短歌	市川 あい子	曼珠沙華
	俳句	横井 富美	富士山
	川柳	戴 けいこ	さくら見上げて

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	小説・評論等	渡邊 悠	音楽室のかのん
	小説・評論等	こつてり	銅像人間
	エッセイ	該当者なし	
	アフォリズム	澤田 悟	男たちはとにかく腕っぷしに頼りたがる そのほうが手っ取り早いと国をこえた戦争にまで当てはめる 古来争いがなくなる理由だ
	詩	福田 ニコラス	サイレンの鳴るとき
	短歌	野間 啓司	楽しんでます シニアのテニス
	短歌	片岡 和夫	初夏の風吹く
	俳句	和田 芙美	ダムの下
	俳句	大河原 妙子	色彩
	俳句	小川 はつこ	わたしの季節
	川柳	澁谷 さくら	絵画展
	川柳	小川 はつこ	夫婦のかたち

## ◆ジュニア部門

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	作文・童話等	大口 怜奈	吾輩はブッタである
	詩	戸来 杏里	生きているしょうこ
	短歌	川村 捷人	さくごえで初めて入ったホームランホームベースをジャンプで着地
	俳句・川柳	堀内 勇志	深呼吸けんぱんに指そつとのせ
優秀賞	作文・童話等	堺 麗名	星空とペンギン
	詩	鶴間 友那	世かいと心
	短歌	堀内 勇志	夏休み特急券をにぎりしめ笑顔の祖父母に会いに行く旅
	俳句・川柳	加藤 康汰	頭の中ルーズリーフに描く夏
奨励賞	作文・童話等	金田 季朗	夢
	詩	小川 マカナ	だっぴした私
	短歌	田中 篤希	炎天下最後の夏を走りぬき心のにこる青春の汗
	短歌	小塚 匠真	おにいちゃんがんばってたよかけっこでぼくのおうえんきこえてたかな
	短歌	新谷 太誠	ぜったいにたいようちかいこのあつさそれでもぼくはいっぱいあそぶ
	短歌	杉原 凜	びっくりだスイカたべたら口の中たねが12こはあったよ
	短歌	石丸 琴葉	みずあそびてんまでとどけみずしびきキラキラひかるくもにむかって
	短歌	山本 絢菜	学童でゴリゴリまわすかき氷白いこな雪みずいるシロップ
	短歌	落合 珀翔	夏休み毎日ずっと考える一行日記いつでも同じ
	短歌	近藤 董	台風だ外はあらしだビューンビューンわたしの宿題持って行ってよ
短歌	青木 嵩明	めだかさんみずくさかえたキレイだなたまごうんでるびっくりしたよ	

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	短歌	後藤 凜人	リコーダーれんしゅう中に犬のモモふしぎそうな目こっちを見てる
	短歌	岸江 大雅	おこづかいたまるのおそいしゅくだいはなんでこんなにたまるのかな
	短歌	山本 奏恵	不思議だな熱が出たけど動画見て大笑いして熱が引いてた
	短歌	中村 亮介	台風は備えて準備母さんと雨戸はしめた電池はどこだ
	短歌	小川 マカナ	夕焼けのグラデーションの空が好き一番星とカラスがにであう
	短歌	藤田 真帆	ありのれつたどってみたらまっすぐでずっといったらありのおしろだ
	俳句・川柳	坂口 優月	もう来ない部活でうまる夏休み
	俳句・川柳	宮寄 一颯	夏休みじいじが作ったオムライス
	俳句・川柳	大久保 伊織	サイダーをいっぱいむとのどあつい
	俳句・川柳	林 仁花	ふねにのりきらきらはなびみてみたい
	俳句・川柳	岡田 明香里	ふうりんが風にゆられておよいでる
	俳句・川柳	古市 仁心	赤ちゃんはこがたかいじゅうへやあらず
	俳句・川柳	稲田 壮真	夕焼けにてらされている金の妻
	俳句・川柳	橋本 くるみ	運動会息びつたりのソーラン節
	俳句・川柳	河内 菜桜	風鈴がチリンとひびく散歩道
	俳句・川柳	倉田 宗尚	ウォークラリースタンプ集め一万歩
	俳句・川柳	高瀬 りり子	大げさに別れを惜しむ卒業生
	俳句・川柳	江部 史葉	すいかわりこっちというけどそれどっち